

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 1月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら 川崎港町教室

保護者等数(児童数) 38 回収数 35 割合 92%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	28	4	0	3	子どもから狭いという話しはない。	・スペースを有効に活用できるように活動を工夫してまいります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	26	3	0	6	各教室に利用者に必要性のある専門の先生を配置して欲しい。 退職した方や新しく入った先生の情報がわかると嬉しいです。	・職員についてはお便り等で紹介してまいります。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	2	0	19	出入口で不審者が来た場合に確認されているか心配。	現状バリアフリーに配慮された作りにはなっていない。 ご意見については、必ず職員(大人)が玄関対応し子どもが先に出る事が無いようにしている。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	35	0	0	0		・今後ご満足いただけるように支援していきます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	34	1	0	0	料理やお菓子作りが大好きなので最近増えて喜んでいます。	・今後ご満足いただけるように支援していきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	7	4	20	特に必要ないかなと思います。	・お子さん達の必要性を考慮して、実施については今後検討していきます。
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	35	0	0	0		・今後ご満足いただけるように支援していきます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	33	1	0	1		・今後ご満足いただけるように支援していきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	34	1	0	0	話しはよく聞いてもらえてこちらの意向に沿って支援していただけています。もっと助言をいただけたらと思います。 アドバイスをいただけて助かります。	・今後ご満足いただけるように支援していきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	4	13	17	お忙しいかと思いますが、父親の参加する交流会や勉強会があったら良いなと思います。 特に必要ないかなと思います。	新型コロナウイルスの影響で交流会等は行っておりませんでした。必要性を含めて今後検討してまいります。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	25	3	0	7	一度もこぼんはうすさんに苦情を感じたことはありません。大変信頼しています。	・今後ご満足いただけるように対応していきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	33	1	0	1		・今後ご満足いただけるように対応していきます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	34	0	0	1		・公式LINEを活用してプログラム予定を配信したり、新聞で様子が伝わるように工夫している。今後継続していきます。
14 個人情報に十分注意しているか	33	1	0	1		・今後ご満足いただけるように対応していきます。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	32	1	0	2		・公式LINEを活用して緊急時等には情報を一斉送信させていただく。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	30	0	0	5		・曜日を变えて毎月実施している。今後も継続して避難訓練を実施していきます。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	27	5	1	2	大好きなようです。いつもありがとうございます。 毎週楽しみにしています。 行くまでの気が重い状態です。 行くまでと行った後の感想に差がある。 月曜日は行きたいけど金曜日は…とまだたまに言ってます。	・今後ご満足いただけるように支援していきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	35	0	0	0	可能であれば送迎時のフィードバックをもう少し詳しく聞けると嬉しいです(友達との関わり方や良い点悪い点なども教えていただけたらと様子がわかって助かります)	・送迎時のフィードバックについては他のおしずさんも車内にいるため、方法について検討してまいります。 ・今後ご満足いただけるように支援していきます。

493 34 18 85

78%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 1月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 川崎港町教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	3	高学年児童が増えると手狭。自由時間のボール遊びのスペースの確保や安全には気をつけている。	・狭い室内ではあるが、パーテーション等で間仕切りをして個別学習や活動の工夫を継続していく。
	2	職員の配置数は適切である	7	1		・基準配置を考慮してのシフト作成を継続していく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	0		・トイレは介助者が入るには狭く、車いすには対応していない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1	議事録の回覧や口頭での伝達	・毎朝朝礼を実施し、申し送り事項の確認をしている。 ・アンケートや必要な情報は全職員に周知する。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0		・アンケートをもとにフィードバックを行う。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1		・公式LINE等を活用して周知していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2		・現状把握出来ていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1		・新人研修や他教室との交流研修を実施している。他、強度行動障害支援者養成研修を法人として積極的に受けている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0		・児発管を中心に計画を立てている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1		・アセスメントシートを用いて職員間の共有や支援に役立っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0		・児発管を中心にチームでプログラムの立案をしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0		・季節感のあるプログラムや外出・製作等、バランスよく子どもたちが飽きないプログラムの工夫をしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	0	可能な範囲で行っている。	・長期休業中にはそれぞれに宿題や学習のサポートをしたり、歩行や外出等、プログラム以外にも活動の工夫をしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	0		・集団プログラムと個別学習を毎日実施している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	子どもたちが帰って来る前にパートに今日の流れを説明してくれるので助かります。	・毎朝朝礼を実施し、送迎や申し送り事項、人員配置の確認は前日の終業前に全従業員に携帯で確認が出来るようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	日報への引継ぎ事項の記入および必要な場合は口頭で伝達。	・必要があれば共有し、申し送り事項は必ず毎日記入して次の朝の朝礼で共有周知出来るようにしている。また、申し送り事項はBANDにアップして全職員が見られるようになっていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	個別記録表への記入。打ち合わせというほどではないが、情報共有はなされている。	・連絡帳や個別記録を取っている。ケースによってはヒヤリハットの記録を取り、共有している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	1		・面談後等に職員でカンファレンスを行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6	0		・児童の個々や成長に合わせて、最善の支援を行っている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	2		・一斉集団指導等があった際は管理者が出席し周知を行っている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	0	行えている学校と行っていない学校があるように感じます。	・保護者や学校から年間予定や月間の予定、下校時刻をいただいで確認している。また、下校時刻が変更になった際は適宜連絡をいただいている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	2		・医療的ケアが必要な児童は現在在籍していない。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	3		・同じ教室の児童発達支援から利用する児童に関しては情報の伝達を密に出来ている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	4	該当児童がいない。今後の課題。	・現状そのような事例はないが、あれば対応する。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	4		・必要があれば療育センターと連携し、各専門分野にて研修を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	6		・コロナ禍や児童の状況から行っていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	5		・現状そういった会議に行くことはない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	連絡帳や送迎時の会話他、LINEや電話等でも日々の気になる様子など情報共有を行っている。	・利用時には毎回必ず連絡帳でやり取りをし、帰り送迎の際にその日の様子を必ずお伝えしている。問題があれば即時お伝えし、電話での相談も随時行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	4	3	支援計画作成時など、折にふれてご家庭での対応や子どもとの接し方について話しをしている。	・必要に応じて電話相談を受けたり、送迎時に必要事項をお伝えしている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0		・契約時に必ずお伝えしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0		・学校での様子や悩みについて保護者の相談には随時児発管を中心に受け付け、対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6		・必要性から検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0		・クレームについては管理者、必要に応じて法人代表に報告し、適切に対応を行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0		・新聞やInstagramで活動内容を見える化し、プログラム予定等は公式LINEにて発信している。
	35	個人情報に十分注意している	8	0		・新聞やInstagram等で発信の際は、写真掲載の可否をチェックしており、個人情報の持ち出しについても厳重に取り扱っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0		・絵カード等を取り入れている。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4	ハロウィンイベントにて地域の商店街と交流を行った。	・コロナ禍で難しい側面もあるが、事業所の特性から地域住民を招待する等の行事は各教室でなく法人全体で検討する。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1	策定されているがどこまで保護者に周知されているかわからない。	・契約時に保護者にお伝えしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0		・曜日を覚えて毎月行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	2		・虐待防止委員会の設置。 ・役所等からの情報(要対協)との情報交換も必要に応じて行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1	やむを得ないと判断した場合には説明し、書面でも残しているが、サービス計画へは記載していない。	・ケースとしては多くないが、やむを得ず身体拘束を行う可能性のある場合は保護者に説明を行い同意書を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1		・完全除去対応の児童がいれば、指示書を提出いただき対応する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1		・事例集までは作成出来ていないので、記録が集まり次第、事例検討を行う。また、新入の職員に周知出来るようにしていく。